
北海道浮魚ニュース

平成 27(2015)年度 19 号

2015 年 10 月 14 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第 1 次サンマ南下期調査結果

魚体は 29cm 以上の大型が主体

北辰丸（釧路水産試験場試験調査船）で行った第 1 次サンマ南下期調査の結果をお知らせします。去年、北辰丸に表中層トロールが新たに導入されたことから、今年は前年までの流し網ではなく、表中層トロールによる漁獲試験を行いました。台風の影響で、漁獲試験は 3 調査点（5 曳網）のみでした。10 月 20 日からは第 2 次サンマ南下期調査を行う予定です。

調査期間：2015 年 10 月 4 日～10 月 7 日

調査海域と調査点（図 1）：道東太平洋の St. 1～3 の 3 調査点（5 曳網）

調査方法：CTD による海洋観測および表中層トロールによる漁獲試験（1 曳網あたり 1 時間）

1. 表面水温（図 1，表 1）

各調査点の表面水温は 17.1～18.6℃の範囲にあり、St. 1 が 17.3℃、St. 2 が 18.6℃、St. 3 が 17.1℃でした。

2. 漁獲尾数（図 1，表 1）

表中層トロールによる漁獲試験の結果、サンマの総漁獲尾数は 114 尾で、St. 1（1 曳網）が 0 尾、St. 2（1 曳網）が 11 尾、St. 3（3 曳網）が 103 尾でした。St. 3 は、1 網目が 12 尾、2 網目が 3 尾、3 網目が 88 尾でした。曳網はすべて 1 回あたり 1 時間ですが、ワープ長と船速（対水ノット）は曳網ごとに異なります。表中層トロールによる漁獲試験は今年が初めてであるため、前年との比較はありません。

3. 体長組成（図 1，図 2）

表中層トロールで漁獲されたサンマの体長範囲は、24～33cm 台でした。調査点全体の合計では、特大魚が 2.6%、大型魚が 84.2%、中型魚が 13.2%、小型魚が 0.0%、ジャミが 0.0%と、29cm 以上の大型が主体でした。漁法は異なりますが、前年の流し網による調査では、特大魚が 0.0%、大型魚が 83.9%、中型魚が 14.8%、小型魚が 1.3%、ジャミが 0.0%と、今年と同様に 29cm 以上の大型が主体でした。

魚体区分は以下の通りです。特大魚：32cm 以上、大型魚：29cm 以上 32cm 未満、中型魚：24cm 以上 29cm 未満、小型魚：20cm 以上 24cm 未満、ジャミ：20cm 未満。

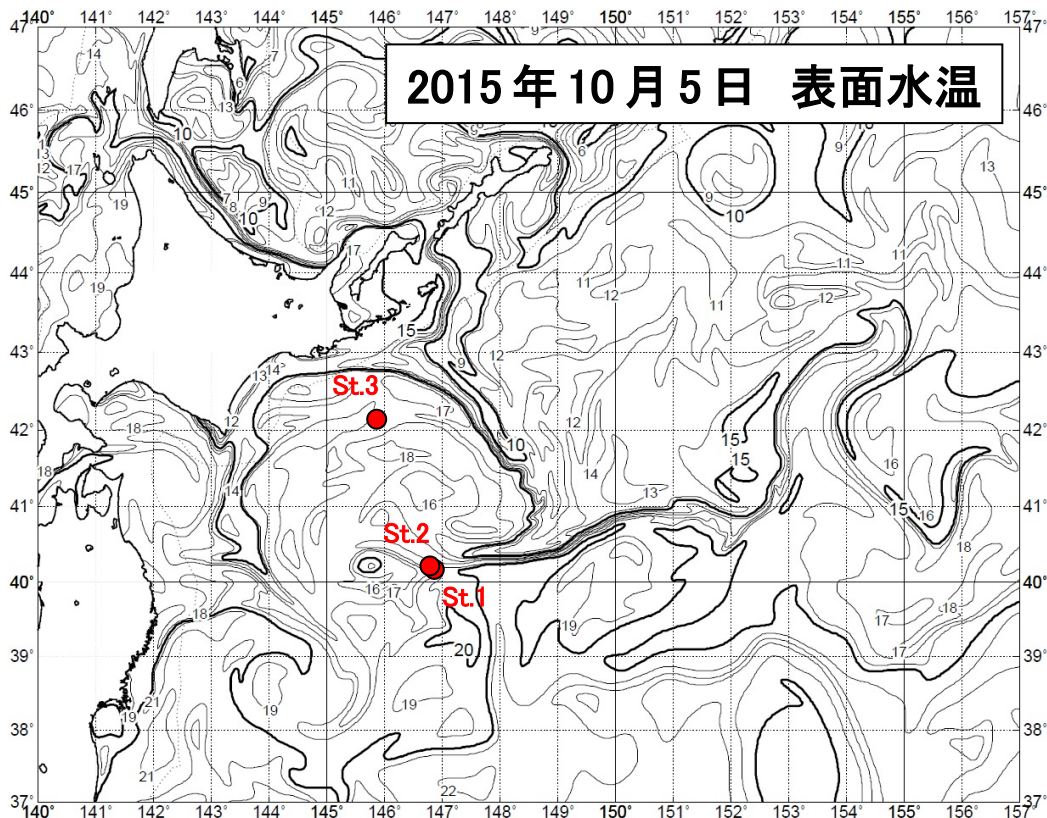


図1 2015年サンマ南下期調査の調査点（漁業情報サービスセンターの水温図を改変）

表1 2015年サンマ南下期調査の結果

調査点	調査年月日	位置		水温(°C)				曳網条件		サンマ漁獲尾数
		北緯	東経	0m	50m	100m	200m	ワーブ長(m)	船速(対水ノット)	
St.1	2015年10月5日	40-14	146-52	17.3	11.2	9.7	6.9	200	4.5	0
St.2	2015年10月5日	40-18	146-46	18.6	10.8	6.5	5.0	250	4.7	11
St.3	2015年10月6日	42-11	145-52	17.1	15.7	9.3	5.1	200	4.5	12
St.3	2015年10月6日	42-11	145-52	17.1	15.7	9.3	5.1	250	4.7	3
St.3	2015年10月6日	42-11	145-52	17.1	15.7	9.3	5.1	300	5.0	88
合計										114

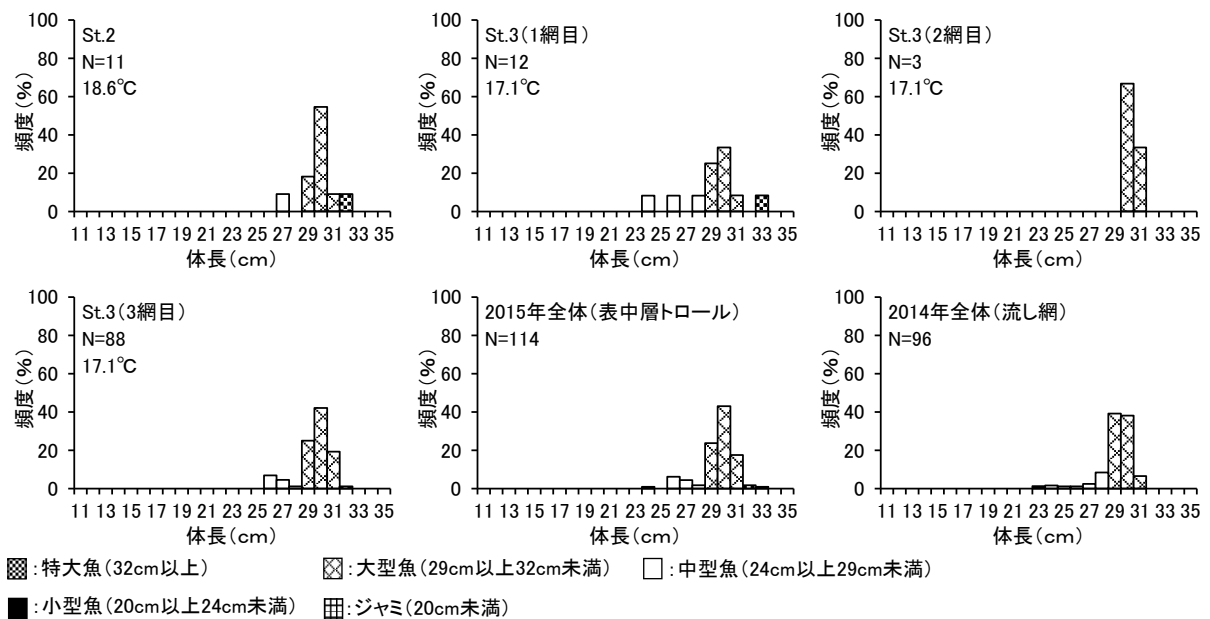


図2 2015年サンマ南下期調査における体長組成（Nは漁獲尾数，温度は表面水温）